

資 料 提 供	
日 時	令和元年8月27日
担当者	鳥取県立青谷高等学校 教頭 山 本
校長名	小 川 勝
電 話	0 8 5 7 - 8 5 - 0 5 1 1
F A X	0 8 5 7 - 8 5 - 0 5 1 2

「高校生だっぴ」の開催について

青谷高校では、「人づくり～自己肯定感を育み、社会で信頼され、社会に貢献する人材の育成」を学校の教育目標に掲げ、地域と連携した授業（「青谷学」、「地域探究」等）や講演会など様々な教育活動をとおして、生徒の自己肯定感の育成に取り組んでいる。そうした中、今年度は、自己肯定感の育成をする事業の一つの取組みとして、岡山県で行われている「だっぴ」を、鳥取県で初めて1年次の生徒を対象として実施する。

「高校生だっぴ」とは、高校生が地域の大人や大学生と交流するキャリア教育プログラムであり、生徒4人程度に対し、地域の大人2人、大学生2人で、計8人程度のグループを作り、働き方や生き方などについてテーマに沿って自由に話し合いを行うものである。グループワークをとおして、生徒たちは教師以外の地域で活躍する大人の多様な価値観に触れることができ、地域や社会への関心を高め、将来に対する目標を考える機会となる。

1 だっぴの日程等

- (1) 日 時 令和元年9月12日（木）午後1時55分から午後3時55分まで
- (2) 会 場 青谷高等学校 体育館
- (3) 参加者 地域の大人の方 49名、大学生 40名

2 公開対象 本校教職員、県内中学校の教職員、鳥取県教育委員会事務局、その他関係機関

3 本校と「だっぴ」のかかわり

- 平成29年11月 中国地区高等学校総合学科等教育研究大会において、小川校長がNPO法人「だっぴ」代表理事柏原拓史と出会い、鳥取県での「だっぴ」を依頼。
- 平成30年2月 鳥取県高等学校進路指導研究協議会における研修会の講師に柏原氏を招聘。
- 令和元年7月22日 青谷高等学校職員研修会に柏原氏を招き、本校職員が「だっぴ」プログラムを体験。

4 NPO法人だっぴについて 添付資料参考